

5  
6  
7  
8  
9  
10  
人  
増  
加  
。  
原  
因  
・  
新  
聞  
報  
道  
な  
ど  
で  
は、  
「  
認  
知  
症  
の  
行  
方  
不  
明  
者  
」  
が  
本  
年  
6  
月  
に  
警  
察  
廳  
生  
活  
安  
全  
局  
か  
ら  
発  
表  
さ  
れ  
ま  
し  
た。

2022(令和4)年に  
あける行方不明者の状況  
が本年6月に警察廳生活  
安全局から発表されました。  
新聞報道などでは、「認知症の行方不明者」が本年6月に警察廳生活安全局から発表されました。

10年連続の増加 10  
年前から1.95倍に  
と見出しに掲げられていますが、数字を細かくみ  
ていくと、その増加率は  
認知症の増加率と比べる  
とけつして高くなっています。数は、統計の残る195  
年から2年連続で増加し、最も記録した2020年(前年比  
8万4910人)で増加しました。原因・

動機別では、疾患関係が  
24719人(構成比2.91%)と最も多く、このうち認知症又はその他の疾患によるものは18709人(構成比2.20%)。2021年は1736人なので前年比1.073%の増加となっています。男女別では、男性が5万4259人(構成比63.9%)、女性が3万651人(構成比36.1%)と、男性の方が高い割合の方が高い傾向が続いている。

当法人としても認知症の方の「外出したまま帰れないなる帰宅困難」や「死亡確認、その他を除く。」までの期間は、受

	女性	男性	総数	うち認知症	前年比
2012	28,924	52,187	81,111	9,607	—
2013	30,032	53,916	83,948	10,322	715
2014	28,457	52,736	81,193	10,783	461
2015	28,716	53,319	82,035	12,208	1,425
2016	30,186	54,664	84,850	15,432	3,224
2017	30,276	54,574	84,850	15,863	431
2018	31,583	56,379	87,962	16,927	1,064
2019	31,186	55,747	86,933	17,479	552
2020	28,028	48,994	77,022	17,565	86
2021	28,929	50,289	79,218	17,636	71
2022	30,651	54,259	84,910	18,709	1,073

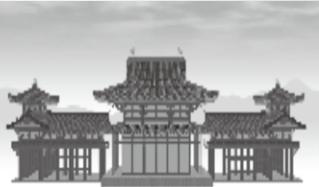
### 別表 認知症の行方不明者の推移

(警察廳生活安全局作成「令和4年における行方不明者の状況」より)

認知症の不明者が増加?

理事長 平田 研一

# 特定非営利活動法人 認知症予防ネット通信



## 60号

2023年8月吉日

編集・発行  
NPO法人

認知症予防ネット  
〒611-0002  
京都府宇治市木幡  
南山15-200

電話

080-3851-8199

Fax

0774-33-8199

E-mail

n.yobo.200409  
@gmail.com

ホームページ

<https://www.n-yobo.net/>

### 安心バッジ

裏面に名前・連絡先



好評発売中  
1個100円



## 総会報告

### 第十九回

### アンコニス

五月十三日、ゆめりあ・うじ（宇治市男女共同参画支援センター）で第十九回となる総会を開催しました。

例年、他のイベントと併せて開催するのですが、今年度は総会だけということもあり、会場参加者は少なく、少々寂しい総会となりました。

新型コロナウイルス感染症も五月八日から感染症分類が2類相当から5類へ移行し、感染対策は個人の判断となりましたが、依然慎重な対応が求められていました時期であつた所為かもしません。

来年は節目となる法人創立二十年を迎えます。

正会員・賛助会員さんだけでなく、日頃お世話になつておられる沢山の皆さんと一緒に集まって楽しいイベントができないか検討を始めています。おもしろいアイデアがございましたら、ご提案いただくようお願いいたします。

○アンコニス・バイアスは解消できるの？

うじ（宇治市男女共同参画支援センター）で第十九回となる総会を開催しました。

例年、他のイベントと併せて開催するのですが、今年度は総会だけということもあり、会場参加者は少なく、少々寂しい総会となりました。

新型コロナウイルス感染症も五月八日から感染症分類が2類相当から5類へ移行し、感染対策は個人の判断となりましたが、依然慎重な対応が求められていました時期であつた所為かもしません。

来年は節目となる法人創立二十年を迎えます。

正会員・賛助会員さんだけでなく、日頃お世話になつておられる沢山の皆さんと一緒に集まって楽しいイベントができないか検討を始めています。おもしろいアイデアがございましたら、ご提案いただくようお願いいたします。

○アンコニス・バイアスは解消できるの？

第一部は宇治市男女共同参画支援センターより女性問題アドバイザーを講師にお招きして「アンコニスは…」をテーマに研修を行いました。

アンコニス・バイアス略してアンコニス、日本語でのことです。他にも、「無意識の思い込み」「無意識の偏見」「無意識バイアス」等と表現されることもあります。

次の二点について説明を受けました。

○どんなことがアンコニス・バイアスなの？

・血液型をきて相手の性格を想像する。性別・世代・学歴などで相手を見る等々、日常生活や職場にあふれています。

言葉としては知らないかもしれませんが、これほど多岐に亘ります。私たちの生活に影響があることに改めて気づくことが出来ました。

・自己認知：大切なことは、アンコニス・バイアスに気づくこと、一人ひとりが意識する」と。

藤田さんは、市の職員としては珍しく、福祉のスペシャリストとして長年に亘り宇治市の福祉行政をリードしてこられた稀有な存在の方です。珍しくと書いたのは、珍しくと書いたのは、私たちの生活に影響があることの育成（筆者の思い込み？）にあります。

講演の内容は、「認知症とは」から始まり、「予防」と「共生」、「認知症の最大のリスク」、「当事者抜きに当事者のことを決めないで」と基本的な事をお話し頂きました。

二〇一六年三月には、「認知症のひとにやさしいうじ」宣言と続きました。

この宣言は、認知症を正しく理解し、我が事として考え、自分にできることを行動しようということを行動しようということを行動します。

### 特別講演 認知症の人々 やさしいまち・うじ



第三部の特別講演は、（社福）宇治市社会福祉協議会の藤田佳也専務理事（前宇治市高齢長寿部部長）に宇治市が取り組んでいる「認知症の人々やさしいまち・うじ」について講演いただきまし

す。  
わたし達は約束します。

一、認知症の人の想いや良し悪しはなく、そこから生まれた言動が知らず知らずに可能性を狭めたり、相手を傷つけたりすることもあり注意が必要。

二〇一八年三月京都認知症総合センター設立認知症の初期から看取りまで途切れることのない医療・介護を一体的に提供する場（診療所、カ

フ機能、介護サービス）として設立。

詳しく述べ、宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど（Lemon Aid）」で検索するか、QRコードで「確認ください。

宇治の「当事者チーム」の歩みが示すもの

つながり、まち全体で支えます。

一、認知症の人人が人生の最後まで安心して暮らせるまちを共につくります。

第一段階：

個として認知症に向き合う、不安、困惑、恐怖、絶望、孤独…。

第二段階：

仲間（ピアサポート）や支援者との出会い、そこには明るい笑顔と希望があった

藤田さんは、市の職員としては珍しく、福祉のスペシャリストとして長年に亘り宇治市の福祉行政をリードしてこられた稀有な存在の方です。珍しくと書いたのは、珍しくと書いたのは、私たちの生活に影響があることの育成（筆者の思い込み？）にあります。

一、認知症になつても、希望や生きがいを持つて認知症とともに生きていきます。



## 議案 第1号 2022年度 事業報告

### 1 認知症予防の啓発・広報事業

- ・「NPO法人認知症予防ネット通信」は、新型コロナの影響で56号から58号までの年3回の発行となりました。（計画では年4回の発行）
- ・「（改訂版）みんなの認知症ゲーム テキスト」の販売促進に努め一定の評価を得ました。
- ・昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で各種イベントは、規模縮小や中止が相次ぎ、参加が限定的（リモートやパネルのみの出展）となり十分な広報活動を行うことは出来ませんでした。
- ・この2年を超えるコロナ禍と会員の高齢化に伴い、会員並びに賛助会員の減少が続いている。会員確保に向けた有効な手立てを実施できなかったことは大きな反省点です。

### 2 講師派遣事業

- ・当法人の地道な活動は各地の行政や社協等で確実に評価されており、コロナ禍ではありましたが、ゲームリーダー養成等、定期的に講師派遣依頼があり、講師派遣を行いました。（大阪市、門真市、八尾市、草津市、松阪市、宇治市、城陽市、井手町、上牧町、他）

### 3 学会関係

- ・2022年9月23日～25日に、福岡国際会議場で開催された第11回日本認知症予防学会学術集会、今回、当法人名での発表はできませんでしたが、当法人認定講師の加藤良江氏（一社・みんなの認知症予防ネット）が口演発表されています。

### 4 自主教室・自主講座の開催

- ・今年度、企画はあったもののコロナ禍の影響で参加希望者が少なく中止となりました。

### 5 全国ゲームリーダー研修・交流会

- ・2022年11月19日（土）に聞法会館（西本願寺）で開催いたしました。  
予約していた部屋が当日変更になる等、トラブルもありましたが、リモート参加の皆さんとも顔を見ながら意見交換ができ意義ある交流会となりました。

### 6 認定講師審査会

- ・今年度、新たな認定講師は誕生しませんでしたが、11月20日に認定講師対象のフォローアップ研修を開催。尚、3月末更新対象の15名全員が書類審査の結果、更新となりました。
- ・認定講師18名は、それぞれの地元で様々な形で活動を展開中です。  
(東京都1名、新潟県1名、愛知県2名、岐阜県1名、滋賀県5名、京都府3名、大阪府1名、和歌山県1名、山口県1名、大分県1名、熊本県1名)

### 7 理事会（理事5名、監事1名）

- ・隔月開催を原則にZoomを活用したリモート理事会（理事5人・監事1名）を開催して、当法人の各種事業の検証や実施に向けての協議を行いました。

以上



## 議案 第2号・第4号 2022年度決算及び2023年度予算

### 収入の部

(単位：円)

科 目	2022年度予算	2022年度決算	対予算比	2023年度予算	対前年度決算比	備 考
年会費	578,400	482,200	▲ 96,200	482,200	○	正・賛助会員の未収金は含まず
入会金	2,000	1,000	▲ 1,000	3,000	2,000	正会員1名、賛助会員1名
小計	580,400	483,200	▲ 97,200	485,200	2,000	
講師派遣謝礼	850,000	840,302	▲ 9,698	850,000	9,698	
講演会等の開催	30,000	99,150	69,150	30,000	▲ 69,150	全国リーダー研修・交流会、他
その他必要な事業	300,000	367,370	67,370	100,000	▲ 267,370	教材販売事業等
小計	1,180,000	1,306,822	126,822	980,000	▲ 326,822	
寄付金	50,000	218,200	168,200	50,000	▲ 168,200	
小計	50,000	218,200	168,200	50,000	▲ 168,200	
雑収入	10,000	0	▲ 10,000	10,000	10,000	
預金利息	20	19	▲ 1	20	▲ 1	
小計	10,020	19	▲ 10,001	10,020	9,999	
A. 当期収入合計	1,820,420	2,008,241	187,821	1,525,220	▲ 483,021	
前期より繰越金	2,780,770	2,780,770	0	3,065,066	284,296	
B. 収入合計	4,601,190	4,789,011	187,821	4,590,286	▲ 198,725	

### 支出の部

科 目	2022年度予算	2022年度決算	対予算比	2023年度予算	対前年度決算比	備 考
人件費	400,000	331,764	▲ 68,236	400,000	68,236	
認知症予防の啓発・広報	250,000	564,793	314,793	500,000	▲ 64,793	
教室開催の提言						
講師派遣（交通費他）	380,000	332,019	▲ 47,981	380,000	47,981	
講演会等の開催	60,000	23,620	▲ 36,380	30,000	6,380	
その他の人の目的を達成するために必要な事業	360,000	6,820	▲ 353,180	120,000	113,180	
消耗品・雑費	26,000	84,961	58,961	26,000	▲ 58,961	
小計	1,476,000	1,343,977	▲ 132,023	1,456,000	112,023	
人件費	45,000	56,070	11,070	45,000	▲ 11,070	
外注費（含む事務委託費）	230,000	240,000	10,000	230,000	▲ 10,000	
通信・運搬費	3,000	58,838	55,838	60,000	1,162	
消耗品・雑費	1,000	13,330	12,330	10,000	▲ 3,330	
その他	1,000	11,730	10,730	10,000	▲ 1,730	
小計	280,000	379,968	99,968	355,000	▲ 24,968	
C. 当期支出身合計	1,756,000	1,723,945	▲ 32,055	1,811,000	87,055	
D. 当期収支差額 (A-C)	64,420	284,296	219,876	▲ 285,780	▲ 570,076	棚卸資産 (221,800)
次期繰越金	2,845,190	3,065,066	219,876	2,779,286	▲ 285,780	

### 会計監査報告

2022年度、特定非営利活動法人 認知症予防ネットの会計監査にあたり、収入支出に伴う

関係諸帳簿を慎重に監査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

2023年5月8日

特定非営利活動法人 認知症予防ネット

監事 木原 由佳里

## 議案 第3号 2023年度事業計画

### 1 認知症予防の啓発・広報事業

- ・ホームページ・ブログ・フェイスブック・広報誌（通信）・チラシ・リーフレット等を活用してタイムリーに当法人の活動状況を紹介します。
- ・「NPO法人認知症予防ネット通信」の年間4回の発行を目指します。
- ・各種イベントに積極的に参加して、行政や他団体との連携を図り、啓発・広報事業に取り組みます。
- ・引き続き課題である、会員・賛助会員の募集活動を計画的に実施いたします。

### 2 講師派遣事業

- ・例年同様、講師派遣依頼は「断らない」を原則に可能な限り対応いたします。

### 3 学会関係

- ・2023年9月15日(金)・16日(土)・17日(日)に予定されている「第12回日本認知症予防学会学術集会」に今年度は何らかの形で参加・発表するよう努めます。

### 4 自主教室・自主講座の開催

- ・昨年度は様々な事情で開催できなった自主講座を本年度は複数回（京都市・南丹市、他）開催予定です。

### 5 全国ゲームリーダー研修・交流会の開催

- ・聞法会館（西本願寺）で11月18日（土）に「第8回全国ゲームリーダー研修・交流会」を開催予定です。

### 6 認定講師資格審査事業

- ・引き続き、新たな認定講師誕生に取り組みます。

### 7 理事会（理事5名、監事1名）

- ・隔月開催を基本としますが、Zoomを活用したリモート会議で、タイムリーな開催を心掛け、理事・監事間で情報を共有して課題解決・改善に取り組みます。

以上

「みんなの認知症予防ゲーム」

ウィズコロナ時代の

教室運営・リーダー養成講座ガイドライン

2023年5月8日以降

2023年5月8日新型コロナウイルスが感染症法における2類から5類へ移行したことをうけ、当法人においてもガイドラインを見直しました。新型コロナウイルス5類相当となりましたが、消滅したわけではありません、基本的感染対策をガイドラインとしてホームページに掲載していますので、感染状況に応じて対処していくぞくようお願いいたします。



### NPO法人認知症予防ネット 会員募集のご案内

当法人の活動は会員の皆さまの会費と寄付によって支えられています。

協力とご支援をよろしくお願ひいたします。

【正会員】 入会金：2,000円、年会費：6,000円

【賛助会員】 入会金：1,000円、年会費：2,400円

《郵便振替口座：NPO法人認知症予防ネット口座番号：00900-1-223642》

## 2022年度 貸借対照表

2023年3月31日

特定非営利活動法人 認知症予防ネット

科目	金額（単位：円）
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	○
預金	2,897,040
仮払金	○
前払金	○
商品	221,800
流動資産合計	3,118,840
2 固定資産	
什器備品	○
固定資産合計	○
資産合計	3,118,840
II 負債の部	
1 流動負債	
預り金	○
仮受金	○
前受金	○
未払金	53,774
流動負債合計	53,774
負債合計	53,774
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	2,780,770
当期正味財産増加額	284,296
正味財産合計	3,065,066
負債及び正味財産合計	3,118,840

「財産目録」並びに「活動計画書」は、  
当法人ホームページの情報公開よりご確認ください。

## 和来隊 (大山崎町)



穴を空けたシートを使った玉入れを楽しむ参加者たち。材質の異なる数十個のボールを使い、最後の1個まで集中が欠かせない(大山崎町円明寺・圓明寺が丘団地自治会館)

拍子を数えながら歌に合わせて手を動かすリズム遊びや、大きなシートを動かして空いた穴にボールを入れる

隊は2014年7月に発足し、認知症の予防や進行の鈍化、軽度認知症の改善を目指して活動。今は隊独自のサロンや町社会福祉協

れを主に入れ。和来隊が行う「みんなの癒活化ゲーム」に、参加者の笑みが自然とこぼれた。

当法人認定講師の永田芳江さんの活動が京都新聞(5月25日朝刊洛西版「ここでご一緒に」)に大きく取り上げられました。

※京都新聞社さんの許可を得て掲載しています。

## ゲーム楽しみ認知症予防

### 9月までの会場と開催日

- 円明寺が丘団地自治会館=第2水曜、第4火曜
- 谷田会館=第1水曜
- 下植野本部スタジオ=第3火曜  
※谷田会館は「いきいきサロン」の一環で行う。時間はいずれも午前10時半~11時40分
- 問い合わせ先  
永田さん090(4038)9639

一つ一つのゲームは純粋に楽しめるだけでなく、1人で行つものからコミュニケーションが必要なものへと難易度が徐々に上がるよう工夫されている。2チームに分かれて競う玉入れでは、材質によってボールの得点が異なり、最後に全員で声を出して足し算する。数を競うだけと比べて難しく計算を間違う人もいるが、「ありや、違うたわ」と笑いつながる雰囲気がある。

講会などの「いきいきサロン」で月に4回、ゲームを開催する。

一つ一つのゲームは純粋に楽しめるだけでなく、1人で行つものからコミュニケーションが必要なものへと難易度が徐々に上がるよう工夫されている。2チームに分かれて競う玉入れでは、材質によってボールの得点が異なり、最後に全員で声を出して足し算する。数を競うだけと比べて難しく計算を間違う人もいるが、「ありや、違うたわ」と笑いつながる雰囲気がある。



(山田修裕)

アラートが出ている中、久し振りに茶の間さんへの訪問です。皆さんお変わりなく元気かなーと内明寺では「認知症の方だけではなく、介護者や、心身の不調で元気をなくしている方にも明るく楽しくなってほしい。(ゲーム)できなからといって、さみしくなる人がいないようにしたい」と力を込める。

隊代表で、介護職経験があり介護福祉士の資格を持つ永田芳江さん(76)は円明寺では「認知症の方だけではなく、介護者や、心身の不調で元気をなくしている方にも明るく楽しくなってほしい。(ゲーム)できなからといって、さみしくなる人がいないようにしたい」と力を込める。

隊のメンバーは8人で、金員がNPO法人認知症予防ネット(宇治市)のリーダー研修を受け、繊細な心配りを学んでいる。隊の合言葉は「やさしさのシャワーワー」。一つの運動が参加者の心に温かく降り注ぐようだ。大山崎の各地区につつて、男性参加者も増えてきた。会場は円明寺、下植野、大山崎の各地区につつて、あります。元気と笑顔があふれる」との思いを込めておまちにしたいと願う。



八尾でもやっています!  
愉快な仲間 伊東幸江

私たちのモットーは「相手に寄り添い思いやりの心を」「いつまでも自立した生き方」です。

果たしてできるでしょうか?

まだまだこれから・・・  
反省ばかりです。

※八尾とは大阪府八尾市

# お知らせ

## 近畿連絡会開催

4年振りの開催

日時：2025年2月～3月頃

詳細未定

内容等、ご希望がございましたら  
可能な限り対応いたします。  
お気軽にお申し出ください。

## 第8回

### みんなの認知症予防ゲーム 全国リーダー研修・交流会

日時：2023年11月18日(土)

10:00～16:00

Zoom配信も予定しています

場所：西本願寺  
聞法(もんぽう)会館

※ 詳細は後日ご案内いたします

筑前介さん（Issue+design  
代表／デザイナー／慶應義塾大学大学院特任教授）  
が書かれた「認知症世界の歩き方」  
2022年いちばん売れた認知症の本！  
「ご本人の頭の中を覗いているような感覚」で、認知症のことを探しみながら学べる一冊です。  
13のストーリーで構成。【記録のトラブル】  
乗るとだんだん記憶をなくす  
②ホワイトアウト渓谷  
・視界も記憶もかき消す深い霧

筑前介さん（Issue+design  
代表／デザイナー／慶應義塾大学大学院特任教授）  
が書かれた「認知症世界の歩き方」  
2022年いちばん売れた認知症の本！  
「ご本人の頭の中を覗いているような感覚」で、認知症のことを探しみながら学べる一冊です。  
13のストーリーで構成。【記録のトラブル】  
乗るとだんだん記憶をなくす  
②ホワイトアウト渓谷  
・視界も記憶もかき消す深い霧

### 本のご紹介



※身近な疑問が解決しますよ。

【時間・空間のトラブル】  
⑨トキシラズ宮殿  
⑩服ノ袖トンネル  
⑪二次元銀座商店街  
⑫カクテルバー  
⑬カイケイの壁  
D A N B O

【五感のトラブル】  
⑤顔無し族の村  
⑥サツカク砂漠  
⑦七変化温泉  
⑧パレイドリアの森  
⑨トキシラズ宮殿  
⑩服ノ袖トンネル  
⑪二次元銀座商店街  
⑫カクテルバー  
⑬カイケイの壁  
D A N B O

けて、息子2人の帰宅を避け、大國主の命は即答を避ます。だが、日本の神代では逆ぎつたのです。

あるならば、不凍港の領有権が住民の命よりも優先されるかのように見えますが、日本の中には

大國主の命には2人の武力に秀でた息子があつたのですが、なんと「寄越せ」と、武力で戦争を仕掛けたのではない天照大神が、出雲の国をあつたのですが、なんと「寄越せ」と、武力で戦争を仕掛けたのではない天照大神が、出雲の国を

80年ほど前に聞いた話です。因幡の白兎に優しい対応をされたのは、大國主の命でした。因幡大勢の男兄弟の末弟の大國主の命「八十氏神」と呼ばれた大國主相続ではなく、人徳主義であつた、と言えるでしょうが。



羽柴秀吉による備前高松城の落城でも、幕末の江戸城無血開城でも、住民の安寧が敵味方理解の一一致のもとに優先されたのが、古来の日本の戦争の在り方と言えるのであります。羽柴秀吉による備前高松城の落城でも、幕末の江戸城無血開城でも、住民の安寧が敵味方理解の一一致のもとに優先されたのが、古来の日本の戦争の在り方と言えるのであります。これが『古事記』の國譲り神話で、現代までも伝承されている平和解決です。

### 高林実結樹の徒然草